

重点課題

【課題1】
主人公が登場人物に対してどのように評価し、接しているか、それについての考えを書く問題の正答率が31.5%、無回答率が16.7%であった。文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを書くことに課題がある。

【課題2】
文章中の語句の意味で適切なものを選択する問題の正答率が38.9%であった。文脈の中における語句の意味を理解し、選択したり、使ったりすることに課題がある。

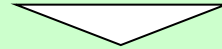
重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】
文学的な文章を中心に、登場人物の心情を読み取る手がかりについて提示し、理由づけて心情を読み取らせる。また、多くの文章に触れ、自分は登場人物の人物像や考え方についてどのように考えるかということをも理由付けて書く機会を設ける。

【課題2】
複数の短い文章を用意し、文脈の中で、語句がどのような意味をもち、働いているのかを予想させることで、語彙力を高めさせる。

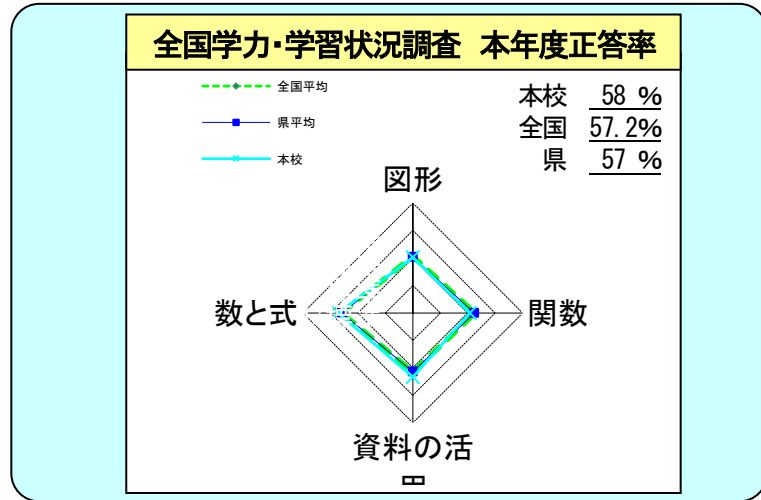
※ 小中一貫した取組については、読書活動等を通して、物事を多角的に捉えると共に、語彙力を高め自分の考えを根拠を基づいて的確に表現できる力を育てる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3年生 定期試験		3年生 定期試験	2年生 R3「全国学力」	
目標値			50%		50%	50%	
実施後数値			53%		51%	48%	
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 定期試験			2年生 定期試験	
目標値			50%			50%	
実施後数値			52%			50%	



来年度に向けて

登場人物の心情や人物像の読み取りについて、具体的な手がかりをもとに理由づけて捉えられるようになってきた。更に多様な文章にあたり、根拠をもとに思いを表現する活動を充実させたい。



重点課題

【課題1】

経過した時間と影の長さの関係を、「...は...の関数である」という形で表現する問題の正答率が38.9%、無回答率が7.4%であった。関数の意味を理解し、言葉で表現することに課題がある。

【課題2】

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題の正答率が29.6%で、無回答率が22.2%であった。複数のグラフを比較して説明することに課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】

授業の中で関数の意味を整理し、2つの数量の関係を「...は...の関数である」という形で表現する場面を設定する。また、問題文からだけでなく、表やグラフからも数量関係を読み取り、関数関係について整理し、説明することができるようにしていく。

【課題2】

データの分布の様子を読み取る場面を設定し、どのような傾向があるのかを多面的に捉え、的確に表現できるように指導する。特に、複数のデータを比較する際には、根拠として、代表値やデータの傾向を明確にし、それらの根拠をもとに説明できるようにしていく。

※ 小中一貫した取組については、問題を図、表、ことばの式などを活用して、理解・説明ができるようにする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生 定期試験				2年生 定期試験	2年生 R3「全国学力」	
目標値	50%				50%	60%	
実施後数値	48%				55%	58%	

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生 定期試験			1年生 定期試験	
目標値			40%			40%	
実施後数値			44%			46%	

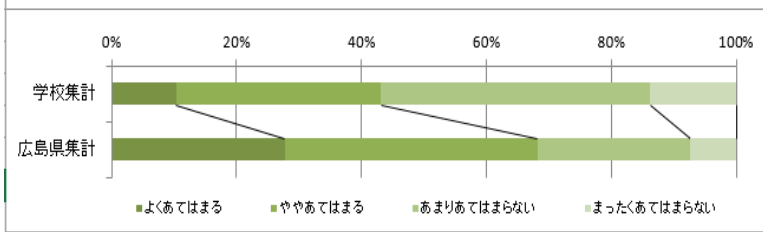
来年度に向けて

関数の意味を理解し、データの分布の様子を的確に捉えられるようになってきたが、根拠をもとに、数学的な表現を用いて、表現することに課題がある。今後も、表現する活動を充実させたい。

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

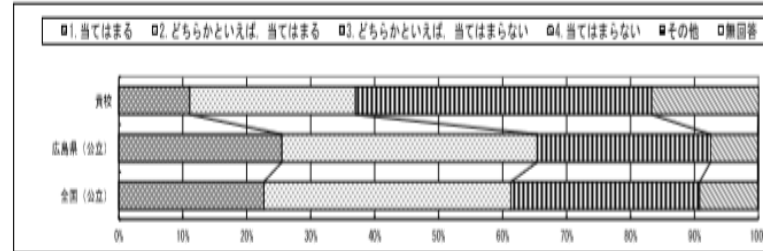
『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。



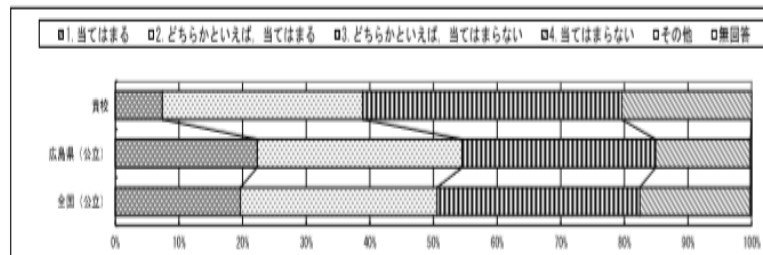
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「学習意識等調査」において「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」の質問に対する肯定的な回答が43.1%であった。	「総合的な学習の時間」において、地域に密着した起業を実践する学習を行う。その中で、「自分で課題を立てる」「情報を集め整理する」「調べたことを発表する」などの学習活動を見通しを持たせて行わせる。	2	60%	生徒アンケート	2月	90%

(2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり、必要に応じて質問していますか。



数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「全国」において、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりしていますか。」という質問に対する肯定的な回答が37.0%であった。	目的や対象を意識して身近な課題を取り上げさせ、それに対しての自分の考えや疑問について理由付けて説明させると同時に、学習で学んだ内容を活用させる場を設ける。	3	50%	生徒アンケート	2月	60%
全国・学習意識等	「全国」において、「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。」という質問に対する肯定的な回答が38.9%であった。	身近にある具体的な事象を課題として取り上げ、数学が活用されていることを実感できるようにさせると同時に、学習で学んだ内容を日常生活で活用できるような問題設定を行う。	3	50%	生徒アンケート	2月	44.3%